

模擬放流試験に用いる素掘池の環境-II ベントスの出現状況

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 足立, 純一, 河原, 郁恵, 高橋, 庸一 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014547

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



模擬放流試験に用いる素掘池の環境—II ペントスの出現状況（資料）

足立純一・河原郁恵・高橋庸一

塩田跡を利用した素掘池（実験池）を放流海域とみなした模擬放流試験では、ペントスを底質変化の指標および放流魚の餌料供給の面から捉えており、1998～2000年に基礎資料として出現状況を調査した。その結果、ペントスの年間の総出現数は、メイオペントスとマクロペントスを合わせて47～104種であった。3カ年間に多く出現した種類は線虫類 NEMATODA であり、組成比率は年々増加する傾向が認められた。また、線虫類の組成比は排水口側で有意に高く、底質判断の一指標として利用可能と考えられた。

栽培技研, 30(2), 111-119, 2003